

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(1月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎
矢祭町「子ども読書の街」づくり推進委員会委員長



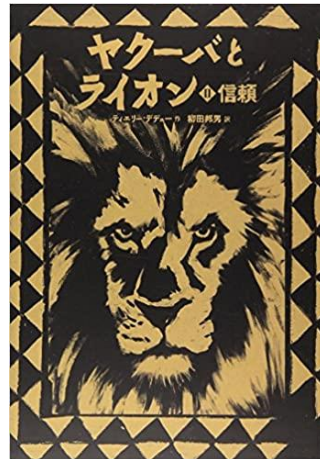
『ヤクーバとライオン』

I 勇気 II 信頼

ティエリー・デデュー 作 / 柳田 邦男 訳 / 出版社 講談社
読み聞かせ : 小学校高学年から



「I 勇気」



「II 信頼」

明けましておめでとうございます。
令和3年のスタートに相応しい絵本です。
生きる中でそれぞれの場面とそれぞれの経験
をして行きます。

何が大切なのか、何を思うのか、その時の勇
気を出す判断が大事だと思います。

リーダーとしての心構えが問われます。

5歳になる私の孫に、この絵本の感想を聞き
ました。返事は“秘密”と答えました。今度、
会う時を楽しみにしています。

内容のご紹介

アフリカの少年ヤクーバは、一人前の戦士としての勇気を示すため、ライオンを倒しに出かける。しかしそこで出会ったのは、瀕死のライオンだった……。

< I 勇気 > いのちを守る ほんとうの勇気とは…

「殺された側は報復のために相手を殺す。終わりのない報復の殺し合いが続いていく。その悪循環を断ち切るにはどうすればよいのか。日本の社会に目を向けると、いじめられた子が復讐の事件を起こす。虐待された子がやがて虐待する側にまわる。これも同じ悪循環だ。もうひとつの道—『殺さないことだ』という、ライオンの問いかけは重い。」—柳田邦男

< II 信頼 > いのちをかけてでも守りぬく 友達との信頼関係を…

男とライオンは闘う。お互いを助けるためにライオンたちが村の牛を襲いにきた。家畜係のヤクーバは、ライオンの王者と闘うが、お互いに相手を傷つけまいとする。深い信頼で結ばれたふたりの、感動的な物語
(矢祭もったいない図書館)